

2007年10月30日

各位

熊本県熊本市南熊本三丁目14番3号  
株式会社トランスジェニック  
代表取締役社長 是石 匡宏  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
(連絡先) IR・広報担当 森田 貴子  
電話番号 078-306-0590

独立行政法人 科学技術振興機構の「産学共同シーズイノベーション化事業（顕在化ステージ）」に課題採択

独立行政法人 科学技術振興機構（以下、機構）が行っている「産学共同シーズイノベーション化事業（顕在化ステージ）」（以下、当該事業）に当社が応募した課題「魚類を用いたヒトGPCRに対する抗体生産系の構築」が採択されましたので、お知らせします。

当該事業は、大学や公的研究機関の基礎研究に着目し、事業化のシーズ候補を企業からの視点で発掘し、シーズ候補の顕在化の可能性を検証するための研究開発を行うものであります。

当社は、三重大学 大学院生物資源学研究科 田丸 浩 准教授の研究成果である魚類を用いた抗体作製に関する新規なシーズに着目し、当社の抗体関連技術プラットフォームとの融合による簡便かつ迅速な抗体生産系の構築を当該事業に応募し、採択されました。

本シーズは、従来の抗体作製方法に比べ、大幅に時間やコストを削減し、かつ、マウスなど哺乳動物では作製が困難であった抗原に対しても特異性・親和性が高い抗体を作製できる基盤技術として発展する可能性があります。本課題は、ヒトGPCRを対象として本シーズの有用性を検証し、抗体試薬としてのみならず医薬品として利用可能な抗体の作製技術を開発するものであります。

当社は、今後、シーズ顕在化プロデューサーとして、機構ならびに三重大学との各種契約を締結した上で、緊密な連携の下、事業化に向けた研究開発を進める予定であります。

なお、現時点においては、本件が当期（平成20年3月期）の業績に及ぼす影響は軽微であります。

ご参考：

科学技術振興機構「産学共同シーズイノベーション化事業（顕在化ステージ）」  
平成19年度第3回公募受付 採択課題一覧 はこちらからご覧になれます。

<http://www.jst.go.jp/pr/info/info437/index.html>

以上